

欧文雑誌に掲載された論文を学位論文とする 学位論文審査及び最終試験に関する評価基準

(平成28年2月22日 大学院医学教育部教授会承認)

【博士課程】

学位申請には、本人が筆頭（第1）著者となっている学位論文1編の提出を必要とする。所定の単位を修得し学位論文を提出した者について、学位論文の審査及び最終試験を行う。

学位論文の審査基準

- 1) 研究の基礎となった文献的事実を含む研究の背景、研究の目的と基本的なストラテジー、詳細な実験方法、実験結果とその解釈、文献的考察を含む深い論考、研究の意義等に関する総括等について十分な論述がなされていること。
- 2) 医学教育部が定める「学位申請のための欧文雑誌」に登録された雑誌に掲載された欧文論文であること。
- 3) 学位申請者が筆頭（第1）著者であること。申請者と他研究者との equal contribution による共著論文にあっては、論文中にそのことが明記されていれば共に第1著者とみなす。
- 4) 他の著者の学位論文として申請中でなく、且つ既に他の著者の学位論文として認められていないこと。
- 5) 「学位論文（Thesis）と関連論文1編以上の提出による学位論文審査及び最終試験に関する評価基準」の関連論文として他の著者が申請中でなく、且つ既に他の著者の関連論文として認められていないこと。
- 6) 学位論文における学位申請者の所属として、熊本大学が記載されていること。
- 7) 学位論文における共著者または謝辞に、熊本大学大学院医学教育部の研究指導者が含まれていること。
- 8) 学位論文の審査基準1)を満たさない short communication などは本評価基準による学位論文として申請することは出来ない。

学位申請のための欧文雑誌の登録基準

- 1) 国外欧文雑誌については、ピアレビュー制度を採用し、編集委員が公表されていること。
- 2) 国内欧文雑誌については、欧文で作成された論文を投稿することが定められており、ピアレビュー制度を採用し、編集委員が公表されていること。
- 3) 欧文雑誌は、PubMed もしくは Scopus に集録されていること。
- 4) 上記の条件を満たせばオンライン形式の雑誌でも構わない。

最終試験の評価基準

最終試験は口述試問（公開発表）により行い、以下の基準により評価する。

- 1) 研究の内容について十分に理解し説明できること。
- 2) 研究の内容に関して提起される論点について論理的に考察できること。
- 3) 研究の将来的な展望について論述できること。
- 4) 当該研究分野に関する最先端の知識を有すること。
- 5) 関連する研究分野に関する基礎的な知識を有すること。

付記：

この内規は平成28年4月1日より発効するものとする。

なお、平成27年度単位修得退学者の遡及での学位申請については、従前の「学位論文の審査及び最終試験に関する評価基準」を適用するものとする。